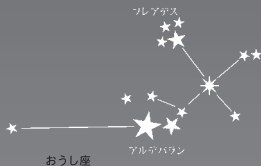


ポラリスを仰ぐ北の大地から



オンライン理事会

石狩医師会 会長 ^{もりかわ} 森川 ^{みつる} 満

新型コロナは、人と人との関係にも影響を与え、コミュニケーションをオンライン上に置き換えていく。新型コロナ感染症の拡大とともに、まず入院施設では、オンラインでの面会が始まった。感染拡大防止のため、中止が続いていた講演会も、オンライン方式での開催を見だし、再開されていった。Zoom、Teams、Meet Nowといったオンライン会議用のツールが増え、しかも無料でも利用できる。本会の会議でもオンライン会議にしてはどうかとの意見が複数あって、12月3日、初めてオンラインでの理事会を実施することとなった。

最初は、出席者のうち、どのくらいWebでの出席を希望されるかと思っていたが、最終的には、会議への直接参加は2人で、Webでの参加は5人となった。多くの講演会や説明会で、Webでの開催が増えており、理事会もWebでの開催とすることにあまり抵抗感はなくなってきているようだ。

会議は、細かな改善点はあるかもしれないが、特に映像や音声に不具合が生じるわけでもなく、スムーズにやり取りを行い終えることができた。講演会等でZoomを利用したことのある役員が多かったため、オンライン会議用ツールにZoomを選んだことも良かったのかもしれない。

オンライン会議は、ノートPCやスマホ、タブレットがあれば、どこからでも会議に参加できる。感染拡大時にも会議を開催できるほか、特に、冬季、雪の多い石狩では出席者の移動を心配する必要がないことにも安心を感じる。ただ、会議室での理事会は、会議終了後、各先生方が各々情報交換を行う。オンライン会議では、会議が一齐に終わるため、各先生方の密な情報交換がなく、物足りなさは感じた。

さて、今回選んだZoomの無料利用は40分の時間制限があるが、実は40分を超えて延長される場合がある。本会の会議はというと、会議当日30分を経過した頃に、Zoom側から感想を聞くポップアップが出され、それに最高と答えたところ、時間制限解除のプレゼントがあった。こんなちょっとした面白さもZoomが人気となっている秘密なのではと感じた。

もしもピアノが弾けたなら

千歳医師会 会長 ^{さかもと} 坂本 ^{たかし} 孝志

年配の先生方であればご記憶あるかと思いますが俳優の西田敏行さんのヒット曲に「もしもピアノが弾けたなら」があります。そしてその歌詞は「だけどぼくにはピアノがない」と続くのです。ところが家の居間の片隅には子供の習い事用のピアノがもう長いこと誰にも弾かれることなく単なるオブジェとなっていました。とある日曜日の昼下がりのことでした。唐突にひとつこのピアノに触れてみたいと思ってしまったのです。幸いにも子供たちが使っていた楽譜が残っていました。私自身は楽器演奏とは無縁な人生を送ってきましたが、さすがに幼稚園児用であればなんとかなると思ってしまったのが運の尽きでした。

実際に挑戦してみたところ、頭では楽譜が理解できるのですが、指のほうがあったくいうことを聞きません。しばらく悪戦苦闘していると部屋の奥のほうから「ミミガクサルカラヤメレ」と非情な妻の一言が飛んできました。痛恨の一撃を食らってしまい強制終了です。しかしながらあきらめきれずあれこれ調べてみて電子ピアノでヘッドホーンを用いる方法にたどり着きました。これであれば腐るのは自分の耳だけです。また電子ピアノは安価であり家電量販店で売っています。さっそく自室に備え付けて練習開始としました。そして数日にわたって練習し続けた結果、なんとか曲のようなものをたどどしく弾けるようになったと記憶しています。それから数年の月日が流れました。時々思い出したように練習を続けています。いまだに幼稚園レベルが卒業できずピアノを上手に弾ける日は永遠に来そうにありません。それでもまた今日も「もしもピアノが弾けたなら」と思いながらピアノに向かっています。

